

こぶしの風

(題字: ヘルパーステーション・宮下翔一さん)

第22号

平成29年5月10日発行

発行: 社会福祉法人信濃こぶし会

広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡伊那村神籠4026番地1

電話 (0265) 35-8511 FAX (0265) 35-9016

URL <http://kobushikai.or.jp/>

E-mail kobushi@dia.janis.or.jp

あ、かわいい
ありがとう

パドルタック
の親子

目 次

新しいぼっぽオープン!!	2P
田中さん やったぞ! 金・銀 奪取!!	3P
法人研修会 共生社会の実現への課題	3P
春の行事あれこれ	4・5P
細きよすが 山菜も直売所では人気	6P
最新型マイクロバスが運行開始	6P
保護者の広場 利用者さんの横顔	7P
職員の素顔 職員の動き 編集後記	8P



作品「サザエさん」伊藤一賛さん(アイビス)

安心して暮らせる地域をつくるために

新しいぽっぽ オープン!!

広いぽっぽに感激

昨年9月から建設が進められていた新しい「ユアサポートぽっぽ」が完成し、3月末に引越しを行ない、4月3日から利用を開始しました。総事業費は155,474千円で、うち補助金は90,200千円です。

新しいぽっぽは、屋根のある車寄せから、そのまますぐに建物に入ることができます。今までの2階にあったぽっぽに比べて、玄関を入れるとすぐに広がる大きな空間に、皆さん「広いねえ」と感心しきり。トイレや手洗いの数も増えたので、用を足すにも、歯を磨くのにも、順番待ちをしなくても済むようになりました。

5月9日には喬木村長さんをはじめ、多くの来賓をお迎えして、テープカットや看板かけなどをし、新ぽっぽの開所を祝いました。

皆さんも新しいぽっぽの見学や体験に来てくださいね。

(職員一同)



利用者さんの喜びの声

清川裕吉さん…新しいぽっぽは、きれいで良かった。

松下 良さん…作業する所(作業室)が広くて、仕事がしやすい。体操する所も広い。

静養室も広くて、ゆっくり休める。

食堂も明るくて感じがいい。

小田切なつ子さん…お昼休みにベッドで、ゆっくり休

めてうれしい。本当にいいね、楽しい。

藤川廣重さん…うれしいですわ！



広い目中活動スペース



テープカットをしてオープンを祝う

ごあいさつ

長年の願いであったユアサポートぽっぽの建物が3月末に完成しました。今までの支援センター二階は耐震構造ではなく、さらに利用して頂く方々のなかに車いす利用の方がおられ、万が一災害などが起こった場合の避難が容易でないため、3年前から国と県に改築に係る補助をお願いしてきました。おかげさまで昨年度補助が頂けることになり、約500m²弱の鉄骨平屋建ての立派な建物が完成しました。



ユアサポート
ぽっぽは、障がい
者の生活介護事業
を行なう施設で、
完成を機に定員を

10名増やし、30名として、4月から新施設での運営を開始しました。また、万が一の災害のとき、地域の方々の初期避難場所としてご利用頂くことにしています。

理事長 片桐 秀人





SOアスリート田中允人さん



スペシャルオリンピックス冬季大会オーストリア大会が3月14～25日まで開催され、スノーボード競技に出場した田中さんはスラロームの部で銀メダルを獲得し、もう一つの種目のジャイアントスラロー

ムの部では見事に金メダルを獲得と大活躍でした。

諸外国の選手との交流でも得意の「折り紙」や「手芸」で大人気だったことでしょう。

日本食と違ってのパンや肉料理の食事、日本とオーストリアの8時間の時差にはかなりまいったとのことでした。これから県知事さんのところへの報告訪問や飯田市優秀選手祝賀会など、まだまだ多忙が待っています。



法人研修会

共生社会の実現への課題

法人研修会が2月25日(土)に、ゆめあるてで行なわれました。講師の鈴木文治先生のお話を、もっと聞きたいという要望が多く、3年連続での研修会となりました。

今回は、＜共生社会の実現を阻むもの～人の心にある差別感情と向き合う～＞をテーマに“人の心にある差別感情”と向き合うことは、人として生きる上で、常に隣り合わせの問題であり、やまゆり園での事件も他人事ではないという鋭い言葉に重さを感じました。自分の内なる弱さを自覚しながら、社会



福祉、インクルーシブ教育を目指したいと思いました。

(研修委員長 池田よし子)

新評議員を紹介します

社会福祉法の改正に伴い、この4月から新体制での運営がスタートしました。このうち評議員会委員については3月に評議員選任解任委員会を開催し、次の7名の方を選任しました。任期は4年間です。

片桐 弘(豊丘村林里地区役員)、松島憲司(喬木村馬場自治会長)、稻葉 勇(社会福祉協議会職員)、久保田雅昭(民生児童委員協議会)、大原裕夫・木林昭芳・萩原信男(保護者会役員)〔敬称略〕

《職員の人事》

【退職】林 千月(ぽっぽサービス管理責任者)、伊藤照子(ヘルパーステーション)、宮澤千鶴(グループホーム)

【正規採用】北澤優子(ぽっぽ)、熊谷明美(アイビス)

【異動】ぽっぽ管理者 宮沢孝明(ぽっぽ支援員)、ぽっぽサービス管理責任者 市瀬加奈子(ぽっぽ支援員)

【新採用】こぶし園 武田光男、矢澤實男、第二こぶし園 小平未央、グループホーム 塩澤さち江、ぽっぽ 宮沢智美

第二こぶし園 住職の講話と座禅

第二こぶし園では、2月24日（事業所の日）に豊丘村にある洞岩寺住職の五十嵐隆光さんにお越しいただき講話をお聞きしました。

『第1章・総序（そうじょ）』についてわかりやすく丁寧に話をしていただきました。それによると総序とは、「人生の意義を明らかにし、仏の教えを信じることにより、現実の苦しい人生に振り回される事はない」ということで、難しい内容でしたが、ハンサムで美声の住職さんのお話を利用者さんもしっかり聞き入っていました。

お話の後には椅子で出来る座禅を教えていただき、実際に20分間座禅を組んでみました。いつもはとても賑やかな第二こぶし園の利用者さんですが、この時ばかりは静かな時間が流れ「無」の境地を味わっている姿が印象的でした。



パドルダック・アイビス 卒業を祝う会

3月24日にパドルダックとアイビスの卒業の会が開かれました。発案、司会進行は、後輩の利用者さんによるもので、お祝いの言葉、お祝いのエール、どれも心がこもっていて、卒業生の笑顔も見られました。

卒業生の一人一言では、「今まで勉強を頑張りました。これからも頑張って就職をしたいです。」「自分の思っていた道とは違いましたが、頑張りたいです。」「今、自分があるのはパドルのおかげです。」「小さな頃から、ずっとパドルにいたので、これからパドルの発展を祈ります。」等、卒業生が堂々と語る姿、その言葉に、スタッフは涙する場面もありま

春の行事

した。最後は温かな拍手に包まれながら卒業生が退場し、会を終えました。



グース 春休みイベント! お祝いパーティーとピザづくり

今年の春もグースはイベントが盛り沢山でした。

3月14日の卒業・進級お祝いパーティーでは、学校やグースを卒業する利用者さんにインタビューをして“4月から頑張りたいこと”の決意表明をして貰いました。その後は、みんなで卒業・進級を祝してジュースで乾杯をしたり、ケーキを食べたりと英気を養いました。

また春休み中には、“いちご狩り”や飯田美術博物館での“プラネタリウム鑑賞”、かざこし子どもの森公園での“ピザ作り体験”などを行ないました。

どのイベントにも多くの利用者さんが参加してください、とても楽しまれておりました。天候にも恵まれ、予定していたイベントを無事に全て行なうことが出来て良かったと思います。



あれこれ

ヘルパーステーションお出かけ企画・第2弾 お好み焼き食べ放題で満腹

3月31日(金)はこぶし園と第二こぶし園が年度末整備で休園のため、ヘルパーステーションでは、28年度のお出かけ企画第2弾として、「お好み焼き食べ放題＆諏訪湖スワンちゃん乗船」のミニ旅行に行ってきました。この日の参加者は利用者さん16名と支援者など13名の計29名でした。

地元下伊那地域にない“お好み焼き食べ放題”は、お好み焼き・焼きそば・もんじゃ焼きの食べ放題とドリンクが飲み放題！ということで、お店に向かうバスの中ではメニューを見ながら、「何を食べようか」と初めての体験に期待は膨らみワクワク状態でした。

お店では、焼いては食べ、食べては焼いて、一体何枚食べたのか、何杯飲んだのか？！楽しいおしゃべりをしながら、お腹いっぱいになり大満足でした。

午後は諏訪湖に移動し、遊覧船のスワンちゃんに乗りました。あいにくの雨で、遠くの景色はかすんでいましたが、満たされたお腹に程よい揺れを感じ、みな笑顔でした。

帰りにそれぞれお土産を買い、とても素敵な1日になりました。



こぶし園・第二こぶし園 鎌倉さんの料理で歓迎交流昼食会

4月3日に、こぶし園・第二こぶし園の入園式を行ないました。両園に5名の利用者さんが加わり、

新年度がスタートしました。

4月15日には、豊丘村の「ゆめあるて」の大ホールをお借りして、『春の歓迎交流昼食会』と題して新入利用者さんを歓迎しました。和食の達人の鎌倉徳雄さんと小池清さんが「解体ショー」を披露してください、鯛やカンパチが三枚におろされ刺身となって盛り付けられていきました。目の前で繰り広げられる名人の包丁さばきに感激し、料理に舌鼓をうち笑顔の交流会となりました。こぶし園の厨房職員も達人の下で裏方として大奮闘してくださいました。

食事が終わると、お楽しみのカラオケ大会！グループに分かれ自慢の歌声を披露しました。



備えあれば憂いなし 喬木事業所の防災訓練!

3月23日に喬木事業所の防災訓練を行ないました。今回は、グースの利用者さんと喬木事業所の職員が参加し、建物内からの出火を想定しての避難訓練を行ないました。

利用者さんは『火災が発生しました』の緊急放送にも慌てることなく冷静に対応し、指示に従ってヘルメットを素早く着用してスムーズに建物外へ避難ができました。

何が起こるか分からない世の中なので“もしも”的にこの訓練が役立つことと思います



細きよすが 第9報

山菜も直売所では人気

春は山菜！ 竹の子は、竹に匂で「筍」とも書きます。匂の味の代表かもしれません。こぶし園では「タラの芽」「こごみ(クサソテツ)」「ワラビ」「タケノコ」「ギョウジャニンニク」など栽培したり、借地に生育しているのを採集したり、職員から提供していただいたものが、直売所や給食で重宝されています。

やがてリニアが開通したとき、伊那谷の魅力の一つが「山菜」となることを予想して、今からこれらの山菜を育成中です。



進む車両の整備 法人車両は全部で40台に 最新型マイクロバス(29人乗り)が運行開始

平成10年から活躍してきた赤と白のツートンカラーのマイクロバス(三菱ふそう ローザ)は今までに38万キロ余を走り、利用者の皆さん毎日の送迎やお出かけなどに活躍してきました。しかし老朽化も激しく、修理できない部品等もあり、更新が検討されてきました。

このほど、全国の社会福祉施設等に施設整備のための助成をしている社会福祉法人清水基金より400万円の助成が認められ、念願のバス更新となりました。

納入されたバスは、今年1月にモデルチェンジした最新型日野リエッセⅡGX(29人乗り)で、色はシルバーM、内部も布張りシートで豪華な構造になっています。

現在運行中の白バスと共に、法人内の様々な場面で活躍してくれます。

また、グループホームでは車いすに対応した送迎車の導入を検討してきましたが、これも日本財団への補助金申請が認められ、ホンダN-BOX(軽乗用車)の車イス対応車が納入されました。グループホームの車イス利用者の足として、運用が始まりました。

このほかこぶし園関係では、2tトラック、軽トラック、10人乗りワゴン車が更新又は増車され、また法人本部の軽乗用車の更新もされました。



GH辻元アパートを廃止

一昨年から運営してきました戸建アパートを利用したグループホーム「辻元アパート」は、この4月をもって廃止しました。

2人用のグループホームとして活用していましたが、昨年夏、一部屋が空室となったため、空室利用のショートステイとして利用しながら後の入居者の模索をしてきましたが、なかなか条件が厳しく、また家賃等の負担もかさんでいくため、今回の決定となりました。

入居していたこぶし園に通う矢野俊夫さんは、同じ豊丘村内のワンルームアパートに移り、ヘルパーステーションの支援を受けながら自立生活を始めました。

保護者の広場

気兼ねなく集える場＝母の会

こぶし園保護者会 母の会幹事 昼神きみ子さん

こぶし園の保護者会組織の中に「母の会」があります。文字通り、お母さん方が集まり親睦を深めあうことを主目的にして活動しています。こぶし園の立ち上げ当初から何かと集まつてはお茶を飲み、日頃の悩みを相談しあえる集まりが今なお続いております。

現在は、親睦の場のみならず、園の活動の手助けになればと、とよおかまつりにあわせてバザーを開



こぶしまつりで活躍する母の会の皆さん

催し、その売上金で利用者さんの休憩時のお茶菓子を提供しています。このほか園の販売活動の応援として豊丘（だいち）の土曜朝市や各種イベントへ出掛けでの製品販売。福祉の制度変更に伴なう勉強会の実施やお母さん方が講師になっての手芸教室など、様々な取り組みを行なってきました。

近年は、お母さん方の多忙さもあり、出席者が減少して寂しさを感じます。親睦を兼ねたお食事会やちょっとした小旅行も企画し、会員を募っています。何よりもお母さん同士、日頃の悩みや相談事を気兼ねなくお話しできる場が「母の会」の良さです。長年活動しているお母さんから新しく入られたお母さんまで、どなたでも気軽に集える会として、細く長く活動して行きたいと思います。

次回開催の折には、ぜひ多くの皆さんのご参加をお願いします。

利用者さんの横顔

第二こぶし園

かたぎり きよし
片桐 清さん



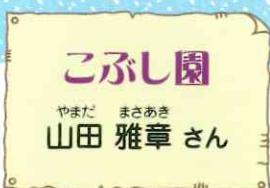
私は、第二こぶし園の農芸班に所属しています。毎日、畑に出かけ草かきを頑張っています。時々、黒曜石も探しています。田村原の畑ではよく見つかるので探しがいがあります。

火曜日と木曜日の午後は多く活動の時間で、自分がやりたいことに取り組み楽しんでいます。今、作っているのはコースターです。布を縫ったり、ボンドで貼ったりしながら作っています。作ったコースターは大事に貯めています。

昼休みは毎日ラジオ体操をして健康を維持しています。ラジオ体操といえば、私は「幻のラジオ体操第三」の情報をもっています。また最近は満蒙開拓や養蚕の勉強を日々熱心にしています。

これからも、草かきをしたり、コースター作りをしたりしながら過ごしていきたいです。(^^♪

こぶし園の自主製品班でお仕事をしている山田雅章さんです。主に外での仕事が多く、重たいものを運んだり、草を取りたり様々なお仕事で活躍されています。こぶし園のムードメーカーとして周りに笑顔と元気を与えてくれています。



やまだ まさあき
山田 雅章さん



〈こぶし園でどんなお仕事をしていますか?〉

まき運びをしています。楽しいです。にんにくの畑での草取りも好きです。広い畑で気持ちがいいです。

〈好きなことはありますか?〉

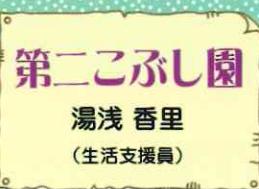
卓球でスマッシュが得意です。練習する仲間募集中!

〈お休みの日はなにをしていますか?〉

テレビを観たり、家族と買い物に行ったりします。

〈好きな食べ物は何ですか?〉

朝ごはんで納豆を食べます! あとは、お家に帰ってお父さんとビール(晩酌)を飲むのが楽しみです。



湯浅 香里
(生活支援員)



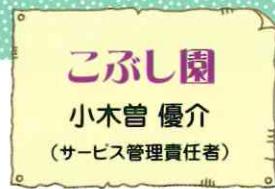
平成22年に、縁あってこの豊丘村に家族4人で引っ越してきました。穏やかな気候と温かい人柄の方が多く、子育てにも適した地域だと感じています。

私は、平成23年の4月から厨房職員として4年半程給食に携わりました。こぶし園で作った農作物を多く取り入れ、新鮮な野菜を調理して提供し、一緒に頂く喜びを味わいました。

現在は、生活支援員として奮闘中です。毎日こぶし園で笑顔で挨拶をすると、私自身元気が出ます。更に皆さんと一緒に体を動かし作業をすると清々しい気分になり、一緒に食事をしたりお茶をすると、幸せな気持ちになります。今後も、共に成長し安穏な生活をしていきたいと思います。

職員の素顔

信濃こぶし会にお世話になって11年目となり、あの頃と比べたら、法律や体制は大きく変わったなあと改めて感じています。ただ、そんな中でも変わらなかったのは利用者さんの「笑顔」と「純粋さ」です。みんなの素晴らしい所に助けられながら、日々の生活を楽しく過ごしています。



小木曾 優介
(サービス管理責任者)



私の趣味のお話させてもらいます。周りからは見た目は厳ついと言われますが食べることが大好きで、日々自分で料理やお菓子を作っています。また趣味はピアノを弾くことで、最近のはやりの曲などを弾いています。見た目とのギャップが激しく自己紹介等の時には「ええ!?」と驚かれることが度々です(笑)

これからもよろしくお願いします♪

職員の動き



ぱっぽ
サービス管理責任者
林 千月さん
～退職挨拶～

7年間、皆さんには大変お世話になりました。ユアサポートぱっぽで支援員として働き始め、利用者さん、ご家族、そしてスタッフから色々なことを学ばせていただきました。そのおかげで、サービス管理責任者になってからも初心を忘れずに、真摯に皆さんと向き合う事ができました。また、チームワークで働く大切さも知ることができました。本当にありがとうございました。

こぶし会関係者の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。



パドルダック
支援員
下 平 真由美

昨年よりお世話になっています。息子の出産以来、約10年ぶりの、社会復帰で不慣れな事もあり、ご迷惑をおかけしております。利用者さんの仕草や笑顔、スタッフの優しさに助けられ、感謝しております。

さて、私の家族はカレー大好き一家です。私の実家では、兄、姉、私の家族が集まると、庭にかまどを作り、ダッチオーブンで野菜丸ごとカレーを皆で作ります。そんなカレー好きな我が家のおスメカレーは手作りスープカレー! 野菜ジュースと冷蔵庫にある野菜で簡単に作れます。カレーパワーで笑顔で元気に頑張ります。



突然ですが問題です! 毎月22日は『ショートケーキの日』です。なぜ22日がショートケーキの日なのでしょう? 最近、忘れっぽくなったなー。そこで、ちょっとした脳トレ問題にチャレンジしてみました。しかしながら、考えずに答えをみてしまい納得! 知識が増えただけでした… 【答え】カレンダーで見たら22日の上は必ず15日だから、イチ・ゴが上にのっている日ということ。これ実話☆

(第二こぶし園 市瀬 尚子)